

岩国基地における空母艦載機の着陸訓練に関する要請書

令和6年5月2日、中国四国防衛局から、硫黄島において実施される米空母艦載機の着陸訓練（FCLP）が、天候等の事情により所要の訓練が実施できない場合には、5月8日から14日までの間、米軍岩国基地において実施するとの通告を受けました。

県や地元市町では、これまでも、市街地に隣接する岩国基地において、FCLPのような激しい騒音被害をもたらす離着陸訓練の実施は容認できないことを、あらゆる機会を通じて、国及び米軍に対して要請してきたところです。

しかしながら、今回もまた、岩国基地においてFCLP実施の可能性が示されたことは、誠に遺憾です。この訓練が実施されることとなれば、日常的に航空機騒音に悩まされている基地周辺住民に、なお一層の負担を強いるものであり、地元自治体として容認することはできません。

よって、貴職におかれては、このような状況を十分に認識され、FCLPについては、岩国基地を使用することなく、硫黄島で所要の訓練を完了するよう、また、今後の訓練において、硫黄島の代替施設として岩国基地を指定しないよう、（米側に求めることを）[※カッコ内は国向け] 強く要請します。

令和6年5月3日

駐日米国大使	ラーム・エマニュエル	} 様(各通)
在日米軍司令官	リッキー・N・ラップ中将	
在日米海軍司令官	カール・A・ラティ少将	
米海兵隊岩国航空基地司令官	リチャード・M・ラスノック大佐	
外務大臣	上川陽子	
防衛大臣	木原稔	
中国四国防衛局長	西方孝	
岩国防衛事務所長	島元和範	

山口県基地関係県市町連絡協議会

会長	山口県知事	村岡嗣政
副会長	岩国市長	福田良彦
	柳井市長	井原健太郎
	周防大島町長	藤本浄孝
	和木町長	米本正明